

連携だより



12月の花 ポインセチア

令和7年

12月号

令和7年12月1日発行

独立行政法人 国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

地域医療連携室

〒737-0023 広島県呉市青山町3-1

0823-22-3111(代)

紹介予約専用

TEL 0823-22-3816

FAX 0823-32-3070

URL <https://kure.hosp.go.jp>

理念

思いやりのあるやさしい誠実な医療を提供します



今月号のトピックス

- 診療予約申込書が新しくなります 1
- 12月1日（月）から当院婦人科で「思春期外来」を開設します 2
- 9月特別講演を開催しました 3
- 10月特別講演を開催しました 4
- 11月14日は世界糖尿病デー 5
- 呉圏域自殺対策研修会に参加しました 6
- 新任医師紹介 7
- 12月の時間外 研修会／勉強会 8

診療予約申込書が新しくなります

12月より診療予約申込書が新しくなります

平素より呉医療センター地域医療連携室の運用にご理解・ご協力頂きまして誠にありがとうございます。前方連携では、スムーズに診療を受けて頂けるように、診療や検査予約、転入調整を行っておりますが、さらに迅速に対応できるように手続きの簡素化も含め改善に取り組んでおります。

この度、12月1日より婦人科外来にて「思春期外来」が開設いたしました。新しく開設した診療科を希望診療科に追加し診療予約申込書のレイアウトを新しくリニューアルいたしました。その他、検査予約申込書も新しくさせていただきました。（別紙折り込みで入れています。）

従来の診療予約申込書での予約も可能ですが、新しい診療予約申込書を今後ご利用して頂ければ幸いであります。今後ともよろしくお願ひいたします。

12月1日（月）から当院婦人科で「思春期外来」を開設します

「思春期外来」開設のご案内

産婦人科 佐川 麻衣子

2025年12月1日より、当院婦人科で「思春期外来」を開始します。

小学生～大学生までの年代の女性を対象に、月経に関する症状（月経痛、過多月経、月経周期異常など）や性成熟に関する相談を婦人科女性医師・スタッフが対応し診察します。婦人科に相談したいことがある場合は、お気軽にご紹介ください。

外来診療

毎月第1月曜日

第2水曜日

第3金曜日

時 間

15：00～16：00

※要相談

対 象

小学生～大学生くらいの女性

診療内容

- ・無月経や月経不順、月経痛、過多月経などの月経異常
- ・性感染症や避妊に関する相談
- ・初経や性成熟に関する相談

その他、婦人科に相談したいことがあれば、どんな小さなお悩みでもお気軽にご相談下さい。

※診療時に内診は必須ではありません。

※受診を希望される方は、呉医療センター地域医療連携室までお問合せ下さい。

診療予約申し込み時には病院やクリニックからの紹介状もしくは学校教員からの診察依頼書（病院HPに様式あり）が必要です。



思春期外来スタッフ

9月特別講演を開催しました



広島大学
原爆放射線医科学研究所
血液・腫瘍内科研究分野
教授
一戸 辰夫先生

2025年9月26日（金）特別講演会を開催しました。

広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野 教授 一戸 辰夫先生に
「血液内科学の無限の魅力」と題されまして、ご講演いただきました。
(以下抄録より)

かつて多くが「不治の病」と呼ばれた多くの血液難病は、21世紀になって登場した分子標的薬・抗体医薬品・細胞医薬品などの恩恵により、治療成績の著しい向上を認め、長期生存が可能な疾患となっています。いまや毒性が少ない治療を用いて、治癒率が90%を超えている造血器腫瘍も複数存在しており、その代表である慢性骨髄性白血病では、ABL阻害薬の内服治療により、服薬を中止しても再発を来たさず「治癒」が得られる時代となりました。本講演では、常に最先端の生命科学の成果を実臨床に取り入れてきた血液内科の魅力について将来の展望を含めて紹介して下さいました。



演者
広島大学原爆放射線医科学研究所
血液・腫瘍内科研究分野 教授
一戸 辰夫先生



座長
血液内科科長
伊藤 琢生



会場風景



前列左から：血液内科医長 木戸 みき、血液内科科長 伊藤 琢生、
広島大学原爆放射線医科学研究所 血液・腫瘍内科研究分野教授 一戸 辰夫先生、
院長 繁田 正信、血液内科医師 木田 迪子
後列左から：血液内科医師 日野 賢次郎、9B病棟看護師長 畠 尚展

10月特別講演を開催しました



広島大学大学院
脳神経内科学教授
丸山 博文先生

2025年10月15日(水) 特別講演会を開催しました。

広島大学大学院 脳神経内科学教授 丸山 博文先生に「進化する脳神経内科診療」と題されまして、ご講演をいただきました。

(以下抄録より)

脳神経内科は稀な神経難病のみを扱う診療科ではなく、頭痛・認知症・脳卒中・てんかんといったcommon diseaseに対応し社会のニーズに応える診療科です。また近年、神経難病においても病態解明が進み、病態に基づく治療が可能となっています。アルツハイマー病ではアミloid β に対する抗体療法が可能になるなど治療の選択肢が増加しています。

最近の脳神経内科診療のトピックスについて紹介して下さいました。



演者
広島大学大学院 脳神経内科学教授
丸山 博文先生



座長
脳神経内科学科長
大下 智彦



質疑応答
院長
繁田 正信



質疑応答
中央放射線センター部長
豊田 尚之



会場風景



前列左から：脳神経内科医師 同道 順子、放射線診断科科長 豊田 尚之、院長 繁田 正信、
広島大学大学院 脳神経内科学教授 丸山 博文先生、
脳神経内科科長 大下 智彦、副院長 大庭 信二、脳神経内科医長 倉重 毅志
後列左から：脳神経内科医師 小松 由樹子、金谷 雄平、脳神経外科医長 高野 元気、
脳神経外科医師 渡邊 侑子

11月14日は世界糖尿病デー



内分泌・糖尿病内科
科長
久保田 益亘

世界糖尿病デーは糖尿病の予防や治療継続の重要性について、世界的にキャンペーンを行うイベントです。糖尿病のケアは血糖管理だけでなく、肉体的・精神的・社会的のすべてが満たされていることが大切です。

とくに糖尿病特有のストレスや負担感については、糖尿病治療そのものにも影響を与えるため、丁寧なケアが必要です。世界糖尿病デーをきっかけに糖尿病の予防や治療の啓発を行う目的で、広島県医師会糖尿病対策推進会議のもと、呉地区でも呉市医師会の先生方や呉市 福祉保健課 にご協力いただき今年も様々な場所でモニュメントが糖尿病のシンボルカラーであるブルーにライトアップされました。

11月14日世界糖尿病デー 糖尿病啓発2025呉地区ブルーライトアップ

期 間 2025年11月10日（月）～2025年11月17日（月）

内 容 ブルーライトアップ

場 所 旧呉海軍工廠塔時計

呉医療センター正面 風景のリズム 光・風・波のモニュメント

大和ミュージアム

時 間 日没～22:00まで



旧呉海軍工廠塔時計



呉医療センター正面
風景のリズム
光・風・波のモニュメント



広島県医師会 糖尿病対策推進会議では、広島県の先生方により、最新の糖尿病治療のエッセンスを凝縮した『これだけは知っておきたい糖尿病診療のポイント』2025-2026の分担執筆を執り行っております。糖尿病診療のエキスパートの先生方により、初診時のポイント、治療目標・コントロール指標、食事・運動療法、薬物療法、糖尿病合併症について、分かりやすく纏めていただいております。近日中に、広島県医師会より刊行される予定となっておりますので、是非とも先生方の日々の診療にご活用いただけますと幸いです。

呉圏域自殺対策研修会に参加しました

呉圏域自殺対策研修会に当院職員が参加しました。

文責：ソーシャルワーカー 茂口 陽明

去る11月11日、呉地域保健対策協議会主催による「呉圏域自殺対策研修会」が呉市医師会館にて開催され、当院からも医師、看護師、精神保健福祉士など多職種が参加しました。会場には行政・医療・福祉・教育など幅広い分野から約40名、オンラインでも約30名の参加があり、自殺対策に関する地域連携を強化する貴重な機会となりました。

厚生労働省が公表した「令和7年度版 自殺対策白書」によると、令和6年の全国の自殺者数は20,320人で、前年より1,517人減少しています。しかしながら、10歳代の自殺者数は平成29年以降増加傾向にあり、令和6年には小中高生で529人と、昭和55年以降で最多となっています。こうした現状を踏まえ、今回の研修テーマは「自殺を防ぐために私たちにできること」と設定されました。

前半では、当院精神科科長の大盛航医師が講師を務め、自殺対策の現状と行政施策の方向性、支援の基本姿勢、そして地域におけるネットワーク形成の重要性について講演を行いました。講演では、日常の支援の中で気づきや声かけを通じて“気づきのサイン”を捉えることの大切さが示され、具体的な事例を交えながら、支援者一人ひとりの役割を再確認する内容となりました。参加者からは「支援のあり方を見つめ直す機会になった」「連携の意識を高める契機となった」との感想が寄せられました。

後半は、会場参加者によるグループワークが実施され、職種や所属の垣根を越えて活発な意見交換が行われました。参加者からは、「地域のネットワークを強化しながら、一人ひとりに丁寧に関わりたい」「支援者自身が悩みを共有し、支え合う場の必要性を感じた」「多職種の考え方を理解し、今後の啓発活動に活かしたい」など、今後の実践に向けた前向きな意見が多く聞かれました。

本研修を通じ、医療・福祉・教育・行政など多様な立場の支援者が、自殺予防の最前線に立つ“ゲートキーパー”としての役割を改めて認識する機会となりました。自殺対策は一つの機関だけで完結するものではなく、地域全体で支え合う仕組みが不可欠です。当院としても、今後さらに関係機関との連携を深め、誰もが安心して相談できる地域づくりに貢献してまいります。



新任医師紹介

産婦人科

真田 ひかり



専門 産婦人科一般

資格等

趣味 旅行

ご挨拶

患者さんとのコミュニケーションを大事にし、呉地域の医療に貢献できるよう精進してまいります。ご指導よろしくお願いします。

よろしくお願いします。



【紹介予約専用電話】のお知らせ

外来紹介予約に関するお問い合わせ

地域医療連携室直通

TEL : 0823-22-3816
FAX : 0823-32-3070

その他のお問い合わせ

病院代表電話

TEL : 0823-22-3111

救急外来へのご紹介について

救急車で搬送する患者さんのご紹介は、救命救急センター医師が症状等を直接お伺いさせていただきますので、「救急外来受付」まで電話でご連絡いただきますようお願い申し上げます。

救急外来
受付直通

TEL : 0823-23-1020
FAX : 0823-21-7474

12月の時間外 研修会／勉強会



研修会名	日 時	場 所	講 師 ※敬称略	担当部署	院外 参加	対象職種
地域医療研修センター特別講演会 放射線治療の現状と最近のトピック 「転移巣に対する放射線治療」	12月1日 (月) 18:30~19:30	地域研修センター 1・2	広島大学大学院 医系科学研究 科 放射線腫瘍学 教授 司 先生	管理課	○	全職種
消化器合同オーブンカンファレンス 肝・胆・脾及び上部下部消化管を対象疾患として、 画像診断から手術・病理診断まで担当各科で検討	12月3日 (水) 18:00~	地域研修センター 1・2	呉医療センター 消化器内科 外科 放射線診断科 病理診断科	消化器外科	○	全職種
TCSA勉強会 「クリニックバスってなに?」 「バスの基本を理解して活用しよう!」 「クリニックバス運営への薬剤師の関わり」 「クリニックバス運営への栄養士の関わり」 「骨粗鬆症リエゾンサービスを開始して —FLS 300例 TOPPA—」	12月15日 (月) 18:30~19:30	地域研修センター 1・2	呉医療センター クリニックバス委員会 薬剤師 管理栄養士 整形外科医長	下山 紗也加 柳生 萌華 岡田 芳樹	栄養管理室	○ 全職種

自己研鑽で専門性を高めましょう!!

〔連絡先〕

独立行政法人国立病院機構

呉医療センター・中国がんセンター

管理課 底務係（教育企画部）

広島県吳市青山町3番1号

TEL:0823-22-3111

<https://kure.hosp.go.jp>

〒737-0023 広島県吳市青山町3-1	地域医療連携室	
独立行政法人 国立病院機構	吉田 成人	久保田益亘
吳医療センター・中国がんセンター	寺尾 秀二	西岡 初子
	折本 陽一	片山 千雪
(紹介予約専用電話)		
TEL : (0823) 22-3816 FAX : (0823) 32-3070		